

〔Ⅲ〕 次の文中の下線部に関する問いに答え、最も適当な記号1つをマークしなさい。

1876年、公使館書記官として清国に赴任した竹添進一郎は、友人とともに北京より四川までの旅に出、道中、漢学者として親しんだ中国の歴史舞台とその現実の姿を、詳細な日記にしたためた。この『棧雲峡雨日記』は、近代日本人の手になる初の本格的な中国見聞記である。北京から西南に向かった彼は、石家荘付近では枯れた河床を見て、①夏王朝以来の水利と治水を論ずる。地勢に応じた井田の法が行われた②周の世から、③春秋をへて④戦国に入ると土地区画整備が農地の荒廃をもたらしたという。また⑤王莽の故郷や⑥光武帝即位の地を通り、河南省安陽では、古来そこが⑦殷の故都とされることを記す。まだ同地で甲骨文字が発見される前のことである。⑧孔子の弟子の故郷を通り過ぎ、衛水を渡っては⑨秦から清までの首都の移動と水運の変遷を通観する。ついで洛陽から西安をへて南へと山中の険路を越え、⑩三国蜀のゆかりの地である四川に出た一行は、長江を下って上海で4カ月にわたる長旅を終えた。彼の旅行記は優れた文明史論でもあり、漢籍に描かれた中国の歴史文化と、現実の中国社会との対照に触発されたものであった。またそれは、前近代に書籍を通じて中国文化を敬仰してきた日本が、近代に入って大きく対中認識を改めていく転換点に位置するものでもあった。

〔問 い〕

①夏を開いたとされる人物は誰か。

- a. 舜      b. 堯      c. 湯王      d. 禹

②周に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 武王が殷の紂王を放伐して成立した。  
b. 王や諸侯につかえる卿、大夫、士などの家臣にも領地が与えられた。  
c. 羌に鎬京を攻略され、都を洛邑に移した。  
d. 周王は、天命を受けた天子を称した。

③春秋時代に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 『春秋』は春秋時代の魯の年代記である。  
b. 有力諸侯が覇者として、「尊王攘夷」を唱えた。  
c. 春秋時代末期までに、鉄製農具の使用が始まった。  
d. 齊が韓・魏・趙の三国に分かれて春秋時代は終わった。

④戦国時代に関する記述として、誤りを含むものはどれか。

- a. 晋の詩人屈原は、汨羅に入水した。  
b. 秦では商鞅の変法によって度量衡が統一された。  
c. 蟻鼻銭と呼ばれる銅貨が楚で用いられた。  
d. 地方の邑が県として再編成された。